

議員定数等の問題について 議員提出で2議案

議員定数削減案は否決

提出議員：上野 勝 吉岡 忠
尾作 武夫
賛同議員：小山 時夫 森 亘晋
福島 千恵子 青山 晋
小川 龍美

各議員の賛否は11ページに記載

昨今の社会状況、経済状況や町の行財政運営などを鑑みて、議員数を現行の18名から2名削減し16名とすべきとした「議員定数条例」の改正案が議員8名から提案され、採決の結果、賛成少数（賛成8名）で否決されました。この議案に対し、森議員から賛成討論が、谷議員、大坪議員からそれぞれ反対討論がありました。



賛成少数で否決

今回の議会では「議員定数を削減すべき」とする議案と「議員定数と議員報酬を検討するための委員会を設置すべき」とする議案の2議案を議員提出で提案しました。採決の結果、委員会設置の議案が可決、定数削減の議案は否決となりました。



賛成多数で可決

議員の定数と報酬を検討する 特別委員会の設置案が可決

平成18年第3回定例会は9月6日から26日まで、会期21日間で開催されました。今回の定例会では、17年度各会計の決算認定、教育委員会委員の任命など、合わせて28件の町長提出議案と、「議員定数と議員報酬を検討する調査特別委員会の設置」など3件の議員提出議案を審議しました。

提出議員：谷 四男美
賛同議員：木原 武雄 近藤 浩
竹嶋 久雄 島 英之
小池 信一郎 高橋 征夫
小野 芳久 大坪 国広

議員定数と議員報酬を調査するための「議員定数と議員報酬を検討する調査特別委員会の設置」案が議員9名から提案され、採決の結果、賛成多数（賛成9名）で可決されました。これにより、議会では、新たに特別委員会を設置することになりました。特別委員会委員の構成は、議長を除く17名全議員で構成されます。なお、この議案に対し、近藤議員から賛成討論が、森議員から反対討論がありました。各議員の賛否は11ページに記載

議員から提出議員への質疑（抜粋）

- Q** 昨年の全員協議会で提出者は、定数の議論を打ち切る発言をしながら、なぜ本案を出したのか。
- A** 全協では、議論が出尽くしたと考えた。また、多数決により終結も決定した。しかし、今後も調査の必要があると判断し提出した。
- Q** 深く調査する必要があるならば、なぜもと早く提案しなかったのか。
- A** 定数だけでなく、報酬を含めて検討する必要性を感じたため。
- Q** 委員会をいつ開催し、来年の統一地方選にどのように反映させるつもりなのか。
- A** 選挙前に結論を出すのか、選挙後も引き続き検討するかを含め協議する。

議員から提出議員への質疑（抜粋）

- Q** 削減のメリットは。
- A** 議員の報酬分などを、住民の福祉等に還元できる。
- Q** 削減により、議会運営に支障を来すのでは。
- A** 過去に16人で行った実績がある。意識の問題と受け止めている。
- Q** 若者や、意欲を持った人が議員になりにくくなるのでは。
- A** 組織力の有無に関わらず、本人の熱意の問題である。

補正予算を可決

一般会計予算を7,760万6,000円増額し、また、9つの特別会計総額2億8,032万8,000円を増額する補正予算を可決しました。

追加された補正予算のおもな内容（一般会計）

栗原地区土地区画整理事業準備会助成金	4,685万8,000円
小・中学校防犯カメラ設置工事費	1,239万2,000円